

令和元年度 栗東市バス対策地域協議会(第1回)

議 事 録

[開催日時] 令和元年6月10日(月) 10:00～

[開催場所] 栗東市危機管理センター3階 大研修室1

[出席者] 清水会長、坂口副会長、酒井委員、芝委員(代理者 本庄氏出席)、
相井委員、永井委員(代理者 杉江氏出席)、高田委員、
北村委員(代理者 近藤氏出席)、隠岐委員(代理者 小泉氏出席)、
山田委員、野村委員、濱田委員、坂田委員
野村市長、柳建設部長(委員)、事務局(建設部交通政策課)

[欠席者] 鶴飼委員、平田委員、大西委員

[会議概要]

1. 開 会
2. 挨拶
 - ・清水会長挨拶
 - ・野村市長挨拶
3. 委員紹介
4. 協議事項
 - (1) 地域内フィーダー系統確保維持計画について
 - (2) 栗東市バス交通体系計画の見直しスケジュールについて
 - (3) 栗東市バス交通体系計画の見直しに係るアンケートについて
5. その他 報告事項
6. 閉 会
 - ・坂口副会長挨拶

[議事内容]

1. 開 会

2. 挨 拶

3. 委員紹介

4. 協議事項

(1) 地域内フィーダー系統確保維持計画について

○事務局より内容説明

主な意見、質疑応答など

○特に意見無し。

☆地域内フィーダー系統確保維持計画について・・・承認

(2) 栗東市バス交通体系計画の見直しスケジュールについて

○事務局より内容説明

主な意見、質疑応答など

○特に意見無し。

(3) 栗東市バス交通体系計画の見直しに係るアンケートについて

○事務局より内容説明

主な意見、質疑応答など

○（委員より）アンケートの抽出率は、栗東市民の何パーセントくらいになるのか。

→（事務局より）15歳以上の方を対象に、無作為抽出し、2,062通を配布している。

○（委員より）金勝学区の人に、アンケート調査に関して協議するバス対策地域協議会があると云ったら、「くりちゃんタクシーに乗っていない地区だから、アンケートが配布されない。意見を言う機会がない。金勝地区には、どうしてバスを通してもらえないのか」と言われた。何とか、金勝線を成谷に延伸してほしい。試験運行でも良いので、成谷バス停からバスを走らせて欲しい。地域をあげて利用するように働きかけるので、検討の方、お願いしたい。

自治会等では、バスに乗ってもらうための促進活動をいろいろな人にする事で、以前と同様に金勝地区でバスを走らせられないかという話をよく聞く。免許返納をして、移動が大変になったと話も聞く。

→（事務局より）デマンドタクシーを廃止して、その代わりに金勝地区全体をバスにするのは、なかなか難しい。まだアンケートの集計結果は出ていないが、今後の集計結果を踏まえて検討することになる。ただ、バスを運行するためには、バス事業者等と協議が必要であることから、この場での即答は出来ない。

→（委員より）金勝地区では、以前帝産バスが走っていたように、成谷からのバス路線が通ると思っていた。バス路線が無くなったため、クルマで移動する以外なくなっている。金勝線は、10 数年前の運行当初から、なぜ現在のような路線になったのか。

→（事務局より）くりちゃんタクシー運行は、当時金勝地区で帝産バスが運行していた路線バスの利用者数が極めて少なかったために、帝産バスが撤退した状況からスタートしており、検討の結果、デマンドタクシーにしようという話になった。

→（委員より）金勝地区のデマンドタクシーの、予約が前日までというのが大変だと聞いている。

→（委員より）予約は運行の 30 分前まで対応できるようになっている。

○（委員より）アンケートは、市民に対して無作為でアンケートを配布して、今後の交通体系の見直しを図るための資料としようということですね。ただ、意見を持っているのに、アンケートをもらっていないから意見を伝えられないという声があるということは、このアンケート結果だけで交通体系の見直しを検討するのは、厳しいのではないかと。

→（事務局より）アンケートだけではなく、市では、市民の方からの声や、各自治会からの要望等のお話を聞いている。アンケートについては、全市で一定数のサンプル抽出を行ったうえでの調査になるので、金勝地区の方だけに聞くわけにもいかないという面がある。住民の生の声はいろいろと届いているので、今後、考えていきたいと思っている。委員の皆様からも、ご意見・アドバイスをいただけたら、お願いしたい。

○（委員より）導入には費用が大きくなると思うが、ICカードで乗り降りができる方法を今後導入していく考えは、あるのか。乗りやすさや利便性がよくなれば、バスそのものに対する抵抗感が少なくなる。

→（委員より）くりちゃんバスは、1区間でも、始発から終点まで乗っても、1回200円の定額運賃であり、現金か回数券で支払うかたちとなっている。

5. その他 報告事項

○消費税増税に伴うくりちゃんバスの運賃対応について

○高齢者の免許返納について

○地域（ルモンタウン自治会・観音寺自治会）からの要望について

主な意見、質疑応答など

○（委員より）近江鉄道です。消費税増税についてです。近江鉄道バスの料金体系は対距離運賃なので、何百 m か走ったら、次の料金に変わるようになっております。8%から10%に増税される想定の中で、上昇率 $110 \div 108 \approx 1.01852$ という数字が出ますが、この数字を乗じると、ちょうど現行 270 円の運賃が増税により 275 円となります。これを踏まえ、270 円以上の運賃に関しては、10 円の値上げを届け出させていただいております。

定期券に関しては、以前、5%から 8%に消費税が増税されたときには、消費税を価格に転嫁しておりませんが、今回は増税分を転嫁させていただく予定にしております。栗東市民の方には、影響がない方が多いかもしれませんが、近江鉄道バスに乗る方の場合、運賃体系が変わるというご報告をさせていただきました。

○（委員より）免許返納の講演を聞きにいったら、「65～70 歳になっても免許証は返納してはいけない。この先、自動運転が導入され、これを運転しようと思ったら、免許証を持っていなければいけない」と言われた。今は運転しないようにして、自動運転になったときのために免許証は持っていないといけないという講演だった。実際のところは、免許証は持っていないといけないのでしょうか。

→（委員より）いつ自動運転化されるかは、まだわかりません。

→（委員より）自動運転についても時代の流れからいけば、3～4 年先には、出てくるでしょう。東京オリンピックでは、自動運転バスを走らせると聞いている。自主返納後に、「自動運転のクルマに乗れない。どうしてくれるのか」となっても、もう一度、免許を取得しには行けない。

- (委員より) 自動運転の実験が、大津市や東近江市をはじめ、全国的にされている。
- (委員より) この間、俳優さんが自主返納をしたと話題になっていたように、国民の中には、自主返納の流れができています。ただ、自動運転導入後のことも周知する必要がありますと思う。自主返納のことばかりを言っていると、数年先に自動運転が実現したときに、「あれほど宣伝されたから返納したのに、運転できないのか」と言われたら、対応できないのではないかと。
- (委員より) 普通に運転する自信がなくなった人が、自動運転でどこまで対応できるのか、はっきりとは分からない。自動運転でも、運転手には責任がかかってくるので、対応できるだけの技量が残っているのかどうかが大事成ってくるので、自動運転化と、運転に自信があるのかというのは、また別問題ではないかと。
- (委員より) 自信がないから返すのは、当たり前だと思うが、例えば、金勝地区の人が「75歳で運転は危ないから免許を返したらどうか」と言われても、「毎日市役所に行くのに、どうやって行くのか。毎日、迎えに来てくれるのか」という高齢者世帯もいる。75歳になったからと過度に返納を求めすぎると、自動運転化されたときにどうするのかという点は、注意しないといけない。
- (委員より) あくまでも運転に自信がない方、もしくは、高齢者の方で教習所での講習の成績が非常に悪い方に指導をしている。通常の運転ができる方については、運転してはダメと警察から強制的に返納させることはしていない。また、認知的な病気で対応が必要な方については、ご家族と相談しながら、返納させてもらっているのが現実です。
- (委員より) 過度に宣伝するのは、どうかと思う。
- (委員より) 悲惨な交通事故が頻発しているので、両方を考えたほうがいい。

6. 閉会

以上